

作成年月日	平成21年5月25日
作成部局課室名	企画県民部知事室広聴室

## 県民モニター「第4回アンケート調査」結果概要

### 1 調査概要

<参考 - 対象者及び回答者属性>

- (1) 調査テーマ：「県民の防災意識及び取組状況」
- (2) 調査対象者：県民モニター2,053人（3月13日までの登録者）
- (3) 調査期間：平成21年3月4日(水)～3月17日(火)[14日間]
- (4) 調査方法：県ホームページ上のアンケートフォームに入力
- (5) 回答者数：1,070人（回答率52.1%）
- (6) 自由記入欄：8箇所設定（回答者の72.4%がいずれかに記載）

		対象者	回答者	回答率
総数		2,053	1,070	52.1%
性別	男性	1,205	702	58.3%
	女性	848	368	43.4%
年代別	10～20代	129	38	29.5%
	30代	380	131	34.5%
	40代	424	170	40.1%
	50代	361	194	53.7%
	60代	507	355	70.0%
	70～80代	252	182	72.2%

### 2 調査結果の概観

#### (1) 県民のリスク認識

- ・居住する地域の災害に対する安全性の認識について、「まあ安全」(54.5%)と「安全」(10.6%)の合計が、昨年(60.8%)から約4ポイント増加し65.1%となっている。その理由には、「被災経験がない」、「なんとなく」といった具体的な根拠に基づかないものもあるが、地形・立地条件や防災対策の有無といった理由が安全・危険いずれの認識においても高い割合を占めており、多くの県民が具体的な根拠に基づいた認識をしている。
- ・防災に関する情報の入手先は、「テレビ、ラジオ」(74.3%)、「新聞」(62.5%)などマスコミからの情報とともに、「県・市町などの広報誌やホームページ」(61.5%)、「ひょうご防災ネット」(25.7%)など、昨年と同様に行政からの情報提供も広く活用されている。

#### (2) 自助の課題への取組

- ・災害に備えた家庭での話し合いについて、約7割(67.9%)が何らかの話し合いをし、その主な内容は、「地域の避難場所・経路の確認」(46.5%)、「災害時の安否確認・連絡方法」(32.2%)、「非常用食料等の保管場所、使用方法」(32.1%)などとなり、防災力強化県民運動で重点目標に掲げて取り組んだ成果が現れつつある。
- ・家具等の固定(転倒防止)について、「している」(24.5%)が昨年(20.4%)から約4ポイント増加しているものの、依然として低い率であり、今後とも防災力強化県民運動の最重点目標として取り組む必要がある。
- ・食料品等の備蓄について、「備蓄している」(53.4%)が昨年(45.5%)から約8ポイント増加し、防災力強化県民運動の成果が現れているが、さらなる備蓄の推進のため引き続き重点目標として取り組む必要がある。

#### (3) 共助の課題への取組

- ・1年以内における地域の防災訓練への参加については、「参加したことがある」のは31.7%であるが、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」(62.8%)を合わせると9割(94.5%)を超え、訓練参加への意識は昨年に引き続き非常に高い。「参加したことがある」人の割合も昨年(27.7%)からは4ポイント増加しているが、さらに取組を進め実際の参加につなげていく必要がある。

#### (4) 防災力強化県民運動

- ・平成19年度から展開している防災力強化県民運動の認知度については、「内容も含め知っている」(11.8%)と「見聞きしたことがある」(36.5%)を合わせると約5割(48.3%)となり、昨年(38.4%)から約10ポイント増加し、運動が徐々に認知されているが、引き続き防災力強化に向けて周知を図っていく必要がある。
- ・地域防災力を高めるうえでアドバイスを受ける相手方として、県・市町の防災・消防担当職員が64.9%と圧倒的に割合が高く、地方自治体職員に対する信頼が大きい。

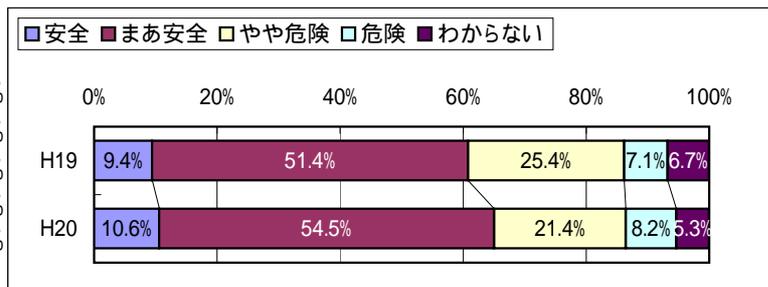
アンケート結果は、本県の防災・減災対策の推進及び防災力強化県民運動を展開していくうえで参考にする。

### 3 調査結果

#### (1) 県民のリスク認識

Q 1 住んでいる地域は、災害に対して安全だと思うか (1つ選択)

- (1) 安全 10.6%
- (2) まあ安全 54.5%
- (3) やや危険 21.4%
- (4) 危険 8.2%
- (5) わからない 5.3%



安全と思う理由 (安全、まあ安全を選択)

- ・高台にあるなど地形や立地がよい 232件
- ・被災経験がない(可能性が低い) 86件
- ・対策がなされている 82件

- ・阪神・淡路大震災で無事だった 62件
- ・何となく 18件 など

危険と思う理由 (危険、やや危険を選択)

- ・地盤が弱いなど立地がよくない 153件
- ・対策がなされていない 39件
- ・被災経験がある 31件

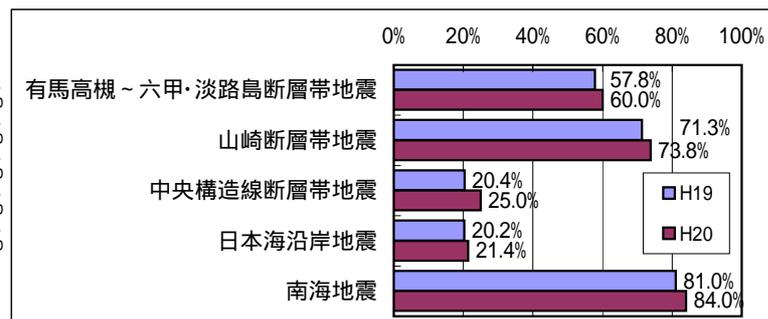
- ・防災マップ等の情報を見て 19件
- ・インフラ整備の遅れ 16件 など

わからない理由 (わからないを選択)

- ・知識、情報が不足している 10件
- ・安全度が判断できない 10件 など

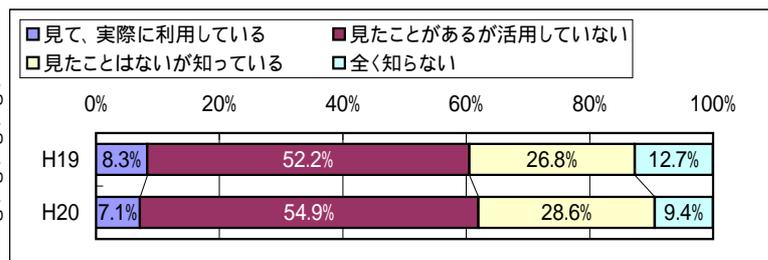
Q 2 大きな被害が想定される地震名を聞いた事があるか (いくつでも選択)

- (1) 有馬高槻～六甲・淡路島断層帯地震 60.0%
- (2) 山崎断層帯地震 73.8%
- (3) 中央構造線断層帯地震 25.0%
- (4) 日本海沿岸地震 21.4%
- (5) 南海地震 84.0%



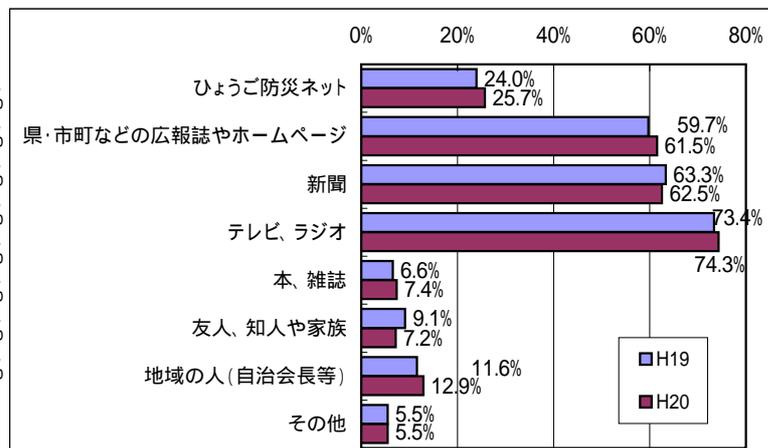
Q 3 ハザードマップを見たことがあるか (1つ選択)

- (1) 見て、実際に利用している 7.1%
- (2) 見たことがあるが活用していない 54.9%
- (3) 見たことはないが知っている 28.6%
- (4) 全く知らない 9.4%



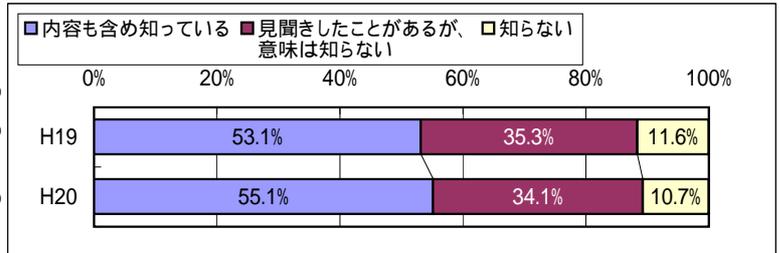
Q 4 防災に関する情報をどこから入手しているか (いくつでも選択)

- (1) ひょうご防災ネット 25.7%
- (2) 県・市町などの広報誌やホームページ 61.5%
- (3) 新聞 62.5%
- (4) テレビ、ラジオ 74.3%
- (5) 本、雑誌 7.4%
- (6) 友人、知人や家族 7.2%
- (7) 地域の人(自治会長等) 12.9%
- (8) その他 5.5%



Q 5 「緊急地震速報」を知っているか  
(1つ選択)

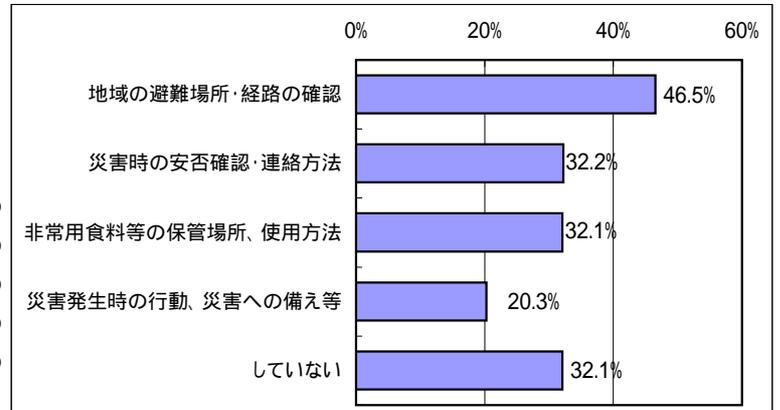
- (1) 内容も含め知っている 55.1%
- (2) 見聞きしたことがあるが、意味は知らない 34.1%
- (3) 知らない 10.7%



(2) 自助の課題への取組

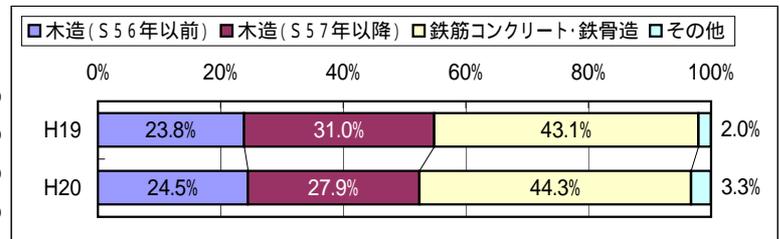
Q 6 災害に備え、どのようなことを家族で話し合っているか  
(いくつでも選択)

- 今回、新設した設問
- (1) 地域の避難場所・経路の確認 46.5%
  - (2) 災害時の安否確認・連絡方法 32.2%
  - (3) 非常用食料等の保管場所、使用方法 32.1%
  - (4) 災害発生時の行動、災害への備え等 20.3%
  - (5) していない 32.1%



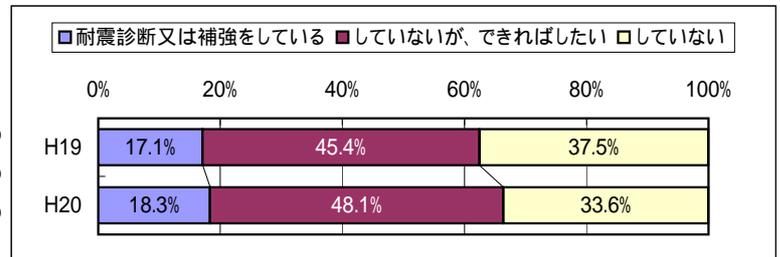
Q 7 あなたの住宅はどれに該当するか  
(1つ選択)

- (1) 木造住宅(S56年以前に建築) 24.5%
- (2) 木造住宅(S57年以降に建築) 27.9%
- (3) 鉄筋コンクリート・鉄骨造住宅 44.3%
- (4) その他 3.3%



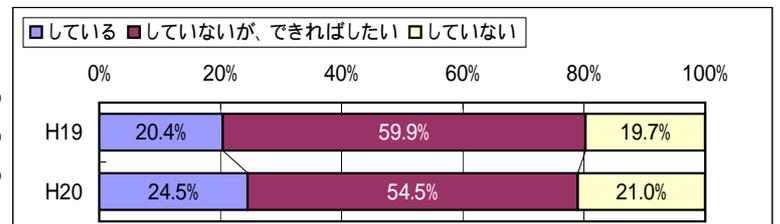
[Q 7で(1)の選択者(262人)に対し]  
Q7-2 耐震診断又は補強をしたか  
(1つ選択)

- (1) 耐震診断又は補強をしている 18.3%
  - (2) していないが、できればしたい 48.1%
  - (3) していない 33.6%
- していない理由[(3)回答者]
- ・費用がかかる 23件
  - ・危険性が低い、必要を感じない 16件 など



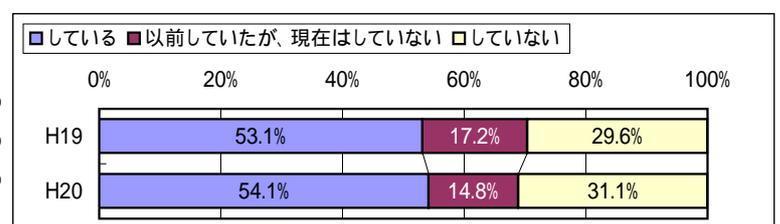
Q 8 家具等の固定(転倒防止)をしているか(1つ選択)

- (1) している 24.5%
  - (2) していないが、できればしたい 54.5%
  - (3) していない 21.0%
- していない理由[(3)回答者]
- ・家具の種類や配置を工夫 64件
  - ・面倒である 27件 など



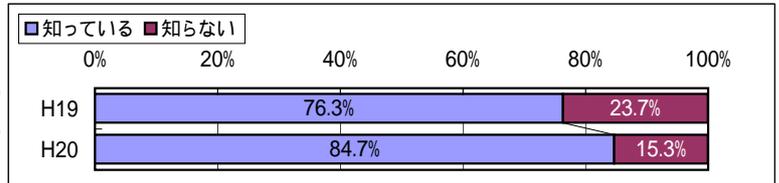
Q 9 消火器を設置しているか  
(1つ選択)

- (1) している 54.1%
- (2) 以前していたが、現在はしていない 14.8%
- (3) していない 31.1%



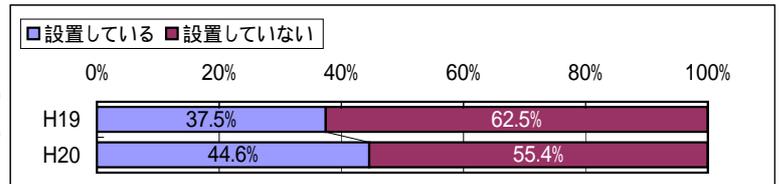
Q10 住宅用火災警報器の設置義務化を知っているか（1つ選択）

- (1) 知っている 84.7%  
 (2) 知らない 15.3%



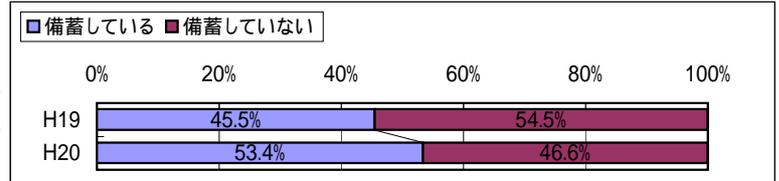
Q11 住宅用火災警報器を設置しているか（1つ選択）

- (1) 設置している 44.6%  
 (2) 設置していない 55.4%



Q12 災害に備えて、飲料水や食料品を備蓄しているか（1つ選択）

- (1) 備蓄している 53.4%  
 (2) 備蓄していない 46.6%



備蓄していない理由

- ・危険性が低く必要性を感じない 61件
- ・意識はあるが、実際にはしていない 57件 など

[Q12で(1)の選択者(571名)に対し]

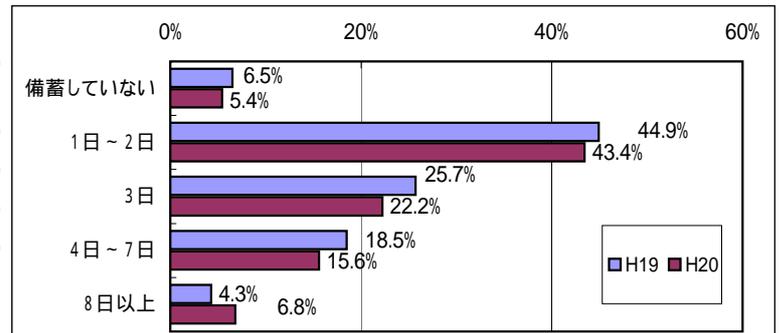
付問 家族全員で何日分あるか。

(飲料水と食料品について日数をそれぞれ記入)

無回答28件あり

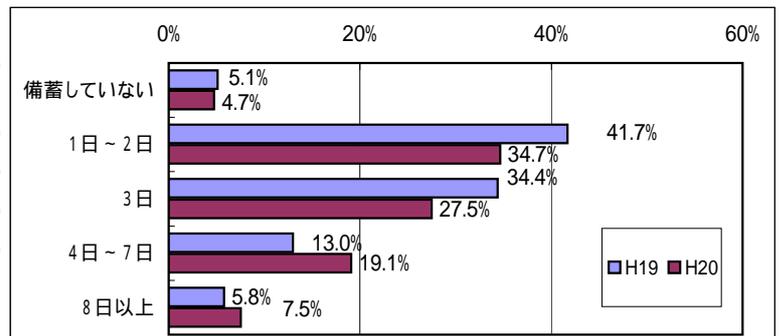
[飲料水]

- (1) 水と食料のどちらかを備蓄していない 5.4%  
 (2) 1日～2日 43.4%  
 (3) 3日 22.2%  
 (4) 4日～7日 15.6%  
 (5) 8日以上 6.8%



[食料品]

- (1) 水と食料のどちらかを備蓄していない 4.7%  
 (2) 1日～2日 34.7%  
 (3) 3日 27.5%  
 (4) 4日～7日 19.1%  
 (5) 8日以上 7.5%



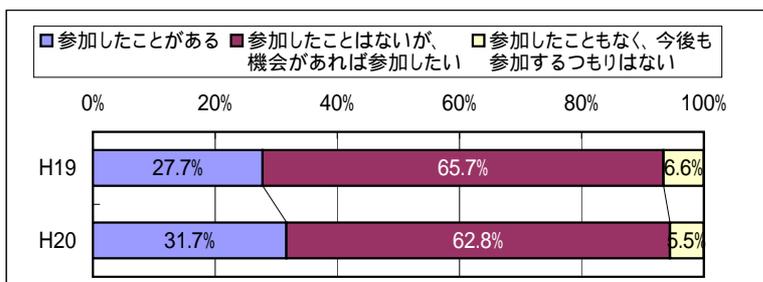
(3) 共助の課題への取組

Q13 1年以内に地域の防災訓練に参加したことがあるか(1つ選択)

- (1) 参加したことがある 31.7%
- (2) 参加したことはないが、機会があれば参加したい 62.8%
- (3) 参加したこともなく、今後も参加するつもりはない 5.5%

参加するつもりのない理由[(3)回答者]

- ・必要性に疑問を感じる 15件
- ・実施日時や場所を知らない 10件 など



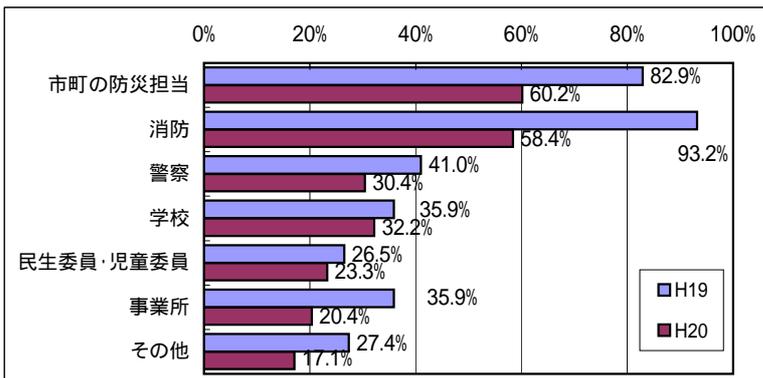
[Q13で(1)の選択者(339人)に対し]

Q13-2 防災訓練で、一緒に参加してもらいたい部署(いくつでも選択)

- (1) 市町の防災担当 60.2%
- (2) 消防 58.4%
- (3) 警察 30.4%
- (4) 学校 32.2%
- (5) 民生委員・児童委員 23.3%
- (6) 事業所 20.4%
- (7) その他 17.1%

「その他」の具体的な内容

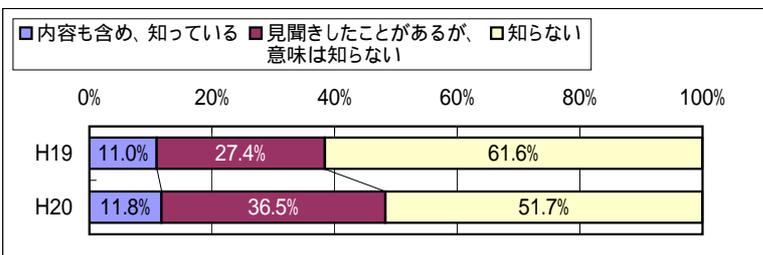
- ・既に参加している 10件
- ・地域全体で参加 6件 など



(4) 防災力強化県民運動

Q14 「防災力強化県民運動」を知っているか(1つ選択)

- (1) 内容も含め、知っている 11.8%
- (2) 聞きかじったことがあるが、意味は知らない 36.5%
- (3) 知らない 51.7%



Q15 地域の防災力を高めるうえで、誰から

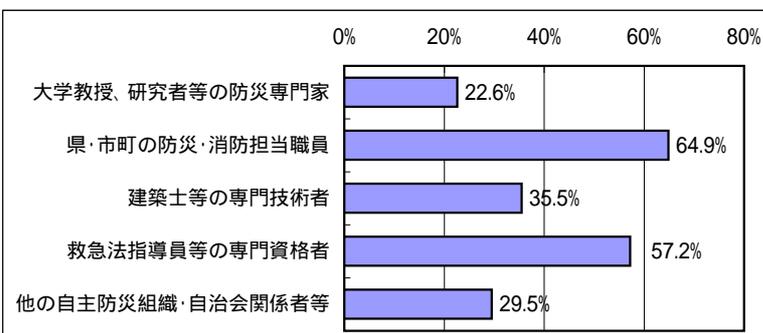
アドバイスや協力を受けたいか。

今回、新設した設問

- (1) 大学教授、研究者等の防災専門家 22.6%
- (2) 県・市町の防災・消防担当職員 64.9%
- (3) 建築士等の専門技術者 35.5%
- (4) 救急法指導員等の専門資格者 57.2%
- (5) 他の自主防災組織・自治会関係者等 29.5%

「上記以外」の具体的な内容

- ・災害経験者 28件 など



Qその他 防災全般についての意見、提案（自由記入）

1 回答者の28.5%にあたる305人が記載した

2 記載内容（延305項目）の主なものは以下のとおり

・PRの推進など情報発信の強化	49件	
・防災意識の向上	41件	
・家庭や地域での取組みの充実	40件	
・防災訓練の充実	33件	
・近隣との交流や連携の強化	28件	
・防災マップ、防災マニュアルの整備	28件	
・行政の防災施策、補助制度の充実	26件	
・人材育成や防災教育の充実	25件	
・災害弱者対策の強化	18件	
・防災に関する取組みの実践の難しさ	13件	
・住民と行政の連携	12件	
・防災施設、設備の充実	11件	など

[ 問い合わせ先 ]

企画県民部知事室広聴室（TEL078-362-3021）